

International Photo-Haiku Festival(仮称)プレ大会 第6回瀬戸内・松山国際写真俳句 コンテスト表彰式 参加者募集

平成28年9月から約4カ月間、日本語および英語の写真俳句を募集していたコンテストの表彰式を行います。また、夏井いつきさんによる写真俳句イベントも開催します。当日、席題写真で一句ひねってイベントに参加してみませんか。あなたの俳句が添削されるかも。



【日時】3月18日(土)▶開場=13時~、開演=14時~
【会場】子規記念博物館(道後公園)4階講堂
【定員】150人(抽選)

【料金】無料(入場整理券が必要)

※返信用はがき(当選はがき)が入場整理券になります。入場整理券1枚につき1人入場

【申し込み】3月3日(金)(必着)。往復はがきの往信裏面に「住所、氏名、年齢」を、返信表面に「住所、氏名」を〒790-0003 三番町四丁目12-10-2階松山はいく事務局へ
松山はいく事務局 ☎945-6445(土・日曜日・祝日除く10~17時)、観光・国際交流課 ☎948-6558・FAX943-9001

「語れ、宇宙の愛! 輝け、愛媛の個性!」 JAXAタウンミーティングin松山

【日時】3月5日(日)14時~16時30分

【会場】愛媛大学(文京町)南加記念ホール
※参加無料

【内容】JAXA(宇宙航空研究開発機構)の職員が宇宙の取り組みについて説明後、参加者と意見交換を行う

【対象】高校生以上

【定員】150人(抽選)

【申し込み】2月28日(火)(必着)。往復はがき、eメール、ファクスで参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を〒790-8571企画戦略課(市役所本館5階) ists-jimoto@city.matsuyama.ehime.jpへ

宇宙短歌・宇宙俳句を募集します

【内容】短歌部門=宇宙飛行士・向井千秋さんが宇宙で詠んだ「宙返り何度もできる無重力」に続く下の句▶俳句部門=「宇宙」をテーマにした俳句(有季定型)

【対象】一般の部=高校生以上▶ジュニアの部=中学生以下

【申し込み】2月28日(火)(必着)。はがきで住所、氏名(ふりがな)、電話番号、eメールアドレス、作品(短歌、俳句ともに1人2作品ずつまで未発表句に限る)ジュニアの部は学校名・学年を〒790-8571企画戦略課へ

☎企画戦略課 ☎948-6213・FAX934-1804

風早秋祭りフォトコンテスト

2016入賞者作品

北条地域の秋祭りをテーマにした「風早秋祭りフォトコンテスト」の上位入賞作品を紹介します。

※2月26日(日)~3月3日(金)の9~17時(26日(日)のみ9~15時)に正岡公民館で入賞作34点を展示

☎風早活性化協議会(坂の上の雲まちづくりチーム内) ☎948-6991・FAX934-1804



『夕陽染まる』 芝崎 静雄



『にらめっこ』 尾崎 雄一



『おじちゃんの方が泣きたいよ』 永江 廣見



『かき比べ』 高石 勝良

オリジナル婚姻・出生届書優秀賞のデザイン紹介

広報2月1日号の最優秀賞に続き、今号では、各届書の優秀賞を紹介します。市ホームページからダウンロードして使用できます。



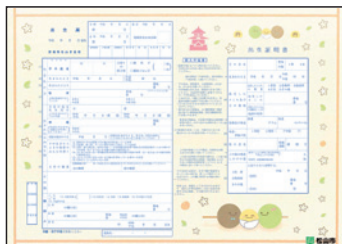
出海 沙季さん



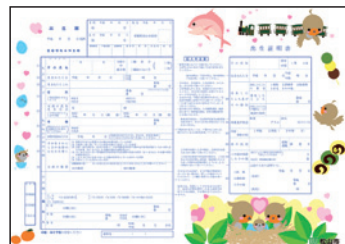
毛利 美侑紀さん



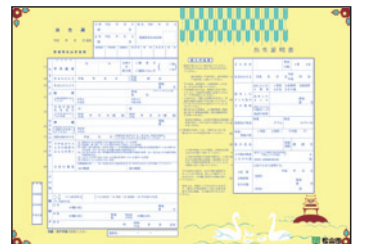
川原 萌さん



高橋 日菜さん



片山 貴之さん



武田 美英さん

☎市民課 ☎948-6345・FAX934-1801



森幸一郎監督

【読者プレゼント】

「ことばのおくりもの」ブルーレイ・DVDセットを抽選で3人にプレゼント
応募先 〒790-8571シティプロモーション推進課「ことばのおくりものプレゼント」係

はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙への意見を書いて、3月31日(金)(必着)までにお送りください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

映像を通じて 新たなまちの魅力を

森幸一郎監督

撮影は8月の暑い時期で大変でしたが、キャスト、スタッフが一丸となって素晴らしい作品ができました。映画に関わるのが初めての人はばかりでしたが、「参加してよかった」と言ってもらいました。こういった経験が、文化面で新たな活躍につながっていくのではと思います。

この映画では、普段見慣れた松山を、映像を通じて見ることで、これまで気付かなかった文化や魅力に気付いてもらえると思います。
松山はコンパクトに海・山・島・まちがまとまっているので、素材が多いため、魅力的な舞台として魅力的です。



キャスト・スタッフは「オール松山(公社)松山青年会議所」と本市が毎年共催している「まつやま市民シンポジウム」の記念事業として

この映画は、まちづくりについて一緒に考えて行動するきっかけづくりの場として、(公社)松山青年会議所と本市が毎年共催している「まつやま市民シンポジウム」の記念事業として制作されており、市のホームページから見ることが出来ます。
映画はこちらからご覧になれます



二次元コード

市民映画

「ことばのおくりもの」をテーマに、多くの市民が参加
「ことばのおくりもの」完成

市民の皆さんが参加し、松山を舞台に制作した映画「ことばのおくりもの」が完成しました。

この映画は、まちづくりについて一緒に考えて行動するきっかけづくりの場として、

制作。愛媛を舞台にした映画制作を行う「ヒメブタの会」代表・森幸一郎さんを総合プロデューサーに迎え、8歳から68歳まで80人の市民がキャスト、スタッフとして参加しました。